第2回病害虫発生状況調査(速報)

7 月 19 日に美方郡内の調査圃場にて、病害虫発生状況調査を行ないましたので、調査結果をお知らせします。

［ 病 害 ］

美方郡内の各調査圃場では、特に病害もなく、良好な生育でした。県立北部農技の 6 月 30 日調査結果では、平年比において、本年は草丈 107%、茎数 119%、葉齢+0.5 と生育が進んでいました。いもち病につきまして一部の調査圃場で確認されましたが、軽度なもので防除が必要なレベルではありません。いもち病・紋枯れ病について、苗箱剤の効果があるものと思われますが、今後の気象条件とともに病害の発生には注意してください。

［ 虫 害 ］

概ねの圃場では、特に虫害もなく、良好な生育状況と言えますが、一部の圃場においてウンカ・カメムシ類の発生を、圃場内とあぜ草雑草において確認されました。出穂時期に注意して防除を行いましょう。また、一部の地域でイナゴの食害が確認されました。なお、カメムシ剤の航空防除が、美方郡内で 7 月下旬より計画されています。

［ 獣 害 ］

獣害は確認されませんでしたが、電気柵の管理（電気柵の高さ確保・下草の除草・電圧のチェック等）を徹底し、被害の発生と拡大を未然に防止しましょう。

◆これからの注意点◆

生育について、田植時の寒さによる初期成育の遅れを取りもどしつつあり、平年比並みもしくは数日程度早く推移していると思われます。今後も気温が高い日が続くと、数日程度早い出穂となります。カメムシ等の防除適期時期に注意してください。